

産業界等と連携した学びの実践事例

学校名	岡山県立 岡山南 高等学校
実践場面	企業との共同研究による新制服の考案
実践日時（時期）	令和4年～5年
対象生徒（学年）	プロジェクトチームで検討
連携の形態	<input type="checkbox"/> 包括連携協定（ ） <input checked="" type="checkbox"/> その他（学校独自の繋がり（産学連携実学体験プロジェクト（MPS）））
学びの分類	<input type="checkbox"/> 講演会講師・説明会 <input type="checkbox"/> 技術指導 <input type="checkbox"/> 企業訪問・インターンシップ <input checked="" type="checkbox"/> 商品開発・共同研究 <input type="checkbox"/> 最新技術・設備の見学 <input type="checkbox"/> その他
実践の内容	
<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> 岡山南高校では以前から服飾デザイン科が「産学連携実学体験プロジェクト（MPS）」として菅公学生服（株）と連携し、近隣の中学校の女子制服や体操服、バスガイドの制服のデザイン企画等に取り組んできた。 制服についてLGBTQなど多様性への配慮が求められる中、岡山南高校の新しい制服を検討することとした。 <p>【実践内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年に教員と生徒代表で構成するプロジェクトチームを立ち上げ、2年間、菅公学生服（株）と新しい制服についての協議を重ねた。 デザインや色、素材など、プロジェクトチーム内で意見を出し合い、企業の方にもアドバイスをいただきながら岡山南高校らしい制服を考えた。 協議の結果、男子の詰め襟学生服は廃止し、男女ともにスーツスタイルの制服を新設し、既存のセーラースタイルの制服といずれかを選択できることとした。また、半袖のポロシャツも新たに選択可能とした。 令和5年4月には服飾デザイン科生徒が「産学連携実学体験プロジェクト（MPS）」で、セーラースタイルに合わせるスラックスを企画し、先行導入した。また、寒暖差への対応などを考慮した男女共通のカーディガン・ベストも併せて導入した。 	
	
実践による効果等	
<ul style="list-style-type: none"> 自分たちが企業と一緒に考えた制服が、実際に自校の制服となり、時代の流れに合わせた制服のあり方について、学校全体で考えていく機会となった。 新しい制服の対象となった新入生からは、「個性も出て、見た目でもどのような人かも分かりやすくなるため、広がってくれるとうれしい。」「ジェンダー問題を考えた良い取組だと思う。」といった肯定的な感想が得られた。 	

※実践の様子が分かる写真等を適宜入れてください。（肖像権の確認等（特に企業側）は各校で行った上で提出してください。）